



成果発表とともに今後の取り組みも示しました

成果を今後に生かそう

県立大学地域共同研究による成果発表会

県立大学地域共同研究による成果発表会が3月17日、市役所多目的ホール棟で開催されました。

発表会には、関係者ら約100人が出席。県立大学生が、平成26年度に田頭・松尾地区・五日市それぞれの地域振興協議会と取り組んだ地域共同研究の成果について、発表を行いました。その後の座談会では、公民館がコミュニティセンターとなり、住民が主体的に地域づくりを行うことの利点と課題などが挙げられ、活発な議論が交わされました。

地元の食の恵み味わう

郷土の新酒と食のゆうべ2015

「郷土の新酒と食のゆうべ2015」が3月6日、岩手山焼走り国際交流村で開催されました。

会場には、市内外の約150人が来場。市の地酒や特産物を使った料理などがテーブルに並べられたほか、屋台コーナーも設置され、できたてのそばや天ぷらを求める人が長い列を作りました。また、ステージ上では、大正琴の演奏や、株式会社わしの尾の社員により酒造りの際に歌われる「蔵人の唄」が披露され、会場を一層盛り上げました。



新酒と料理を囲みテーブルは和やかな雰囲気

立派な小学生になるよ

市立あしろ保育所畑分園卒所式

あしろ保育所畑分園の卒所式が3月14日、同園で行われ、市立として最後(4月から民間移管)の卒所児となる6人の姿を関係者ら約30人が見守りました。

卒所児は、大森玲子分園長から保育証書を授与された後、大きな声で将来の夢を発表。子どもの成長を実感し、涙を流す保護者も見受けられました。式が終わり、保護者と手をつないで退場する卒所児たちは、4月からの小学校生活に向け、希望あふれる表情を浮かべていました。



お母さんに感謝の言葉と証書をプレゼント



寺田喜劇団員の演技で会場内に笑い声が響きました

魅力ある催しで大盛況

第17回寺田コミセンまつり

第17回寺田コミセンまつりが3月7、8の両日、寺田コミュニティセンターで開催されました。

まつりでは、伝統芸能の披露やサークルの手芸作品などが展示されたほか、焼き鳥などの販売コーナーが人気を集めました。8日は、地域の皆さん約20人で構成する「寺田喜劇団」が喜劇「笑吹寺」を公演。劇は、お寺を舞台に繰り広げられるコメディで、劇中にプロジェクターでの映像を織り交ぜるなど、さまざまな工夫で観客の笑いを誘っていました。



大勢の住民が講演などに耳を傾けました

身近なもので特産品を

寺田の魅力を活かした特産品を考える会

「寺田の魅力を活かした特産品を考える会」が3月13日、寺田コミュニティセンターで開催されました。

会には、地域の住民ら約80人が出席。公立大学法人宮城大学食産業学部の津志田藤二郎教授による地元特産品開発の事例紹介や自由討論などが行われました。主催者の畠山城司寺田地域振興協議会長は「身近なものを利用して特産品が作れるという夢が出てきた。リーダーを立て、住民と協力して研究していきたい」と、今後の展開に期待を寄せました。

志高く将来の貢献誓う

市自衛隊入隊予定者激励会

市自衛隊入隊予定者激励会が3月15日、市役所多目的ホール棟で行われました。

激励会には、市内出身の自衛隊入隊予定者12人のうち10人を含む関係者ら約50人が出席。式典では、陸上自衛隊岩手駐屯地の先輩隊員から激励の言葉が送られたほか、入隊予定者を代表し、伊藤仁志さん(19)＝中松尾＝が「さまざまな訓練や教育を受けて精進し、東日本大震災の復興に携わりたい」と、今後の目標を力強く語りました。

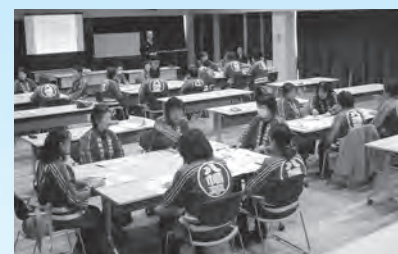


田村市長と固い握手を交わす入隊予定者の皆さん

すなっぶギャラリー



市消防団第6分団にポンプ付積載車が引き渡されました(3月24日、市役所前)



市婦人消防協力隊の幹部研修会が行われました(3月8日、市役所多目的ホール棟)



卒業生一人一人に菊池校長から卒業証書が手渡されました(3月14日、松尾中学校)



卒業を報告するわが子を母親が抱き寄せる感動の場面も見受けられました(3月17日、田山小学校)



ステージ上で旅立ちの言葉を披露する卒業生72人(3月19日、大更小学校)